

みんなの意見

<知的障害者グループ>

① 自分や家族でできること

1. 家族の集合場所を決めておく

初めから 避難所に行くとなると人が多すぎて会えないかもしれないので、まず家族だけで家の近くの安全な場所に集合場所を決めて、それから一緒に避難所に行ったほうが安心。

2. ガムテープとマジックペンを用意しておいて、名前、けがの状態、薬のこと、障害名などを書いておくと、第三者にも理解されやすい。

3. 手帳を持っておくとよい（お薬手帳のようなもの）

4. 知的障害者は自分のことがうまく話せないので、わかってもらう工夫をする。

② 仲間や団体、近所でできること

1. 近所付き合いは大事。

2. 普段から障害者がいることをわかってもらって、お付き合いする。

3. リーダーとなる人が2～3人くらいいると助かる。 (指示をしてくれるとスムーズに事が運ぶ)

③ 行政で取り組んでほしいこと

1. 避難所に障害や病気の人専用の部屋を作ってほしい

2. みんなと一緒にでは迷惑をかけたり、パニックをおこしたりして、一般の体育館では生活ができない。

3. 他の方々にも、そのことを理解してもらえるよう事前にアピールして欲しい。

4. 大人を対象にした福祉勉強会などをやって欲しい。

<身体障害者グループ>

①自分や家族でできること

1. まずは自分の部屋の整理、整頓。
(どこに何があるかわかるようにしておく。また避難路に物を置かない)
2. 要援護者登録をしておく(せっかく作ってある登録制度を活用しよう)
3. 担当地区の民生委員を知っておく(地域によっては、お付き合いがない人もいる)
4. 必要と思われる自分の個人情報公開する。

②仲間や団体、近所でできること

1. 仲間で携帯番号は知らせあっておく。
2. 日頃から隣人に声をかけておく
3. 災害に対する心得を、時々喚起する。

③行政で取り組んでほしいこと

1. 最初から入れる要援護者用避難所を設けてください。
2. 民生委員の方にもっと訪問してもらいたい。

<聴覚障害者グループ>

①自分や家族でできること 1

1. 書くもの(ペン等)を用意
2. 家が倒壊した時のために、枕元に笛を用意
3. LEDを用意する(話せないのでレーザーライトで合図して呼ぶ)

②仲間や団体、近所でできること

1. 近所の人たちと仲良くする
2. 各地域にいるろう者と通訳者の確認

③行政で取り組んでほしいこと

1. 民生委員を紹介してほしい
(自分の地域の民生委員が誰だか知らないろう者が多い)
2. 消防や防災対策関係の人たちにろう者を知ってほしい
(聴覚障害者のことをもっと理解してほしい)
3. 聞こえないので、いろいろな情報を目で見えてわかるようにしてほしい。

<車いす利用者グループ>

①自分や家族でできること

1. 防災グッズを用意。
2. 避難場所を家族で最終的におち合う場所を決めておく。
3. 家具の転倒防止。
4. 通路に物を置かない。
5. 風呂水を朝までためておく。

②仲間や団体、近所でできること

1. 「我が家は無事です」という大きな紙を掲示する。
2. 連絡網の整備。
3. 隣近所に声かけをする。

③行政で取り組んでほしいこと

1. 障害者（児）が直接避難できる体制 → 養護学校、福祉施設等
2. 要援護者支援事業登録制度の「ひとり住まい」という条件をはずして欲しい。
3. 避難所に行けない人にも、食料などの配給をして欲しい。
4. 第一避難所に洋式トイレを作って欲しい。